
 会 告

 日本鉄鋼協会 第50回通常総会 開催ご案内
 第69回講演大会

会 員 各 位

日本鉄鋼協会会長 湯 川 正 夫

本会は来る4月5日(月)に第50回通常総会および4月5日(月)、6日(火)、7日(水)の3日間第69回講演大会を東京大学において開催いたします。また4月8日(木)に日本金属学会と合同で見学会を催すことになりましたので、下記日程ご覧のうへ、多数会員ご参加下さるようご案内申し上げます。

なお、本年は大正4年に本会が創立されてから50周年を迎えることになり、本会期中に別記のごとく記念式典ならびに記念祝賀会を挙行いたすことになりましたので、合わせお知らせいたします。

また4月4日(日)には本会ほか4学協会共催のもとに、第10回材料の強度と疲労に関する総合シンポジウム(本誌会告N10ページ参照)が開催されます。

記

1. 総 会 (詳細は会誌第4号(3月号)にてお知らせいたします)
昭和40年4月5日(月) 13:00~14:30 第50回通常総会、表彰式
2. 講 演 会 (講演論文集は会誌第4号(3月号)、第4号(4月号)として大会前までに会員全員に配付いたします)
昭和40年4月5日(月) 9:00~12:00 (総会終了後も講演会がありますのでご注意ください)
15:00~17:00
4月6日(火) 9:00~12:00
4月7日(火) 9:00~12:00
3. 懇 親 会 50周年祝賀会として別記のごとく行ないます。
4. 見 学 会 昭和40年4月8日(木) 詳細は本誌会告別項N8ページ参照。
5. 会 場 第50回通常総会、表彰式 東京大学工学部2号館大講堂 } 東京都文京区本富士町1
第69回講演大会 東京大学工学部2号館、3号館 }

なお今回は創立50周年記念式典のため、表彰記念特別講演会、共同研究会部会報告講演会は取止めといたします。ただし、服部賞、香村賞、俵論文賞、渡辺(三郎)賞、渡辺(義介)賞受賞者には講演にかえて、原稿の執筆をお願いし、追って会誌に掲載をいたす予定であります。

会員入会勧誘についてのお願い

本会は本年創立50周年を迎え、4月には盛大な式典を挙行いたすこととなりました。

この間、本会は会員各位のご尽力により順調な発展を遂げ、わが国鉄鋼技術、学術に関する最も権威ある学会として内外にその重きを加えております。

正会員、学生会員においても、その数は年々増加し、現在9000有余名を擁するにいたりましたが来るべき創立50周年の記念すべき日までに、会員数を10,000名とし、本会事業の一段の飛躍を計り、もつてわが国鉄鋼界の発展に貢献いたしたいと願ひいたしております。

会員各位におかれましても、本会の意を了とせられ勤務先、お知合いの方々に非会員の方がおられましたら入会のご勧誘方お願いいたします。なお入会申込書は本誌に綴込みましたのでご利用下さい。

創立 50 周年記念行事について

本会創立 50 周年記念行事は下記のごとく挙行されますので、多数会員お誘い合せのうえご参加下さるようご案内申し上げます。

I 記念式典

1. 日 時 昭和40年4月6日(火) 13:00 より
2. 会 場 東京大学安田講堂
3. 次 第
 1. 奏 楽
 2. 会 長 式 辞
 3. 来 賓 祝 辞
 4. 表彰 (褒賞, 製鉄功労賞, 協会事業功労賞)
 5. 名誉会員推挙

II 記念祝賀会

1. 日 時 昭和40年4月6日(火) 18:00~19:30
2. 会 場 ホテル・ニューオータニ 芙蓉の間
3. 所在地 東京都千代田区紀尾井町4番地
(電話東京 265-1111)
4. 会 費 1500円 (パーティー式)
5. 参加申込 別記参照のうえ申込むこと

III 記念特別講演会

1. 日 時 昭和40年4月7日(水) 13:00~17:00
2. 会 場 東京大学法文系31番教室
3. 講 演
 - 1) 溶融合金鋼中の非金属性元素に関する熱力学的考察
Prof. Dr. John Chipman (U.S.A.)
 - 2) 普通鋼および高級鋼生産の将来への考察(仮題)
Prof. Dr. Antonio Scortecchi (Italy)

IV 記念事業

1. 記念式典 別記参照
2. 褒 賞

褒 賞 国の内外を問わず鉄鋼に関する学術・技術の発展に国際的な業績を挙げられた者に対し、金牌を贈呈いたします。今回は第1回の授与になりますが、本賞は数年に1回授与されることとなります。(従来の褒賞は名称を褒論文賞と変更の予定)

製鉄功労賞 鉄鋼に関する学術・技術の発展に功績のあつた者に対し賞牌を贈呈いたします。

協会事業功労者 協会事業に功績のあつた者に対し表彰状ならびに記念品を贈呈いたします。

3. 記念出版

1) **日本鉄鋼協会50年史** 本会創立から今日に至るまでの鉄鋼業界ならびに学界の推移と、年々活発になる本会の活動状況を取りまとめたもので、記念式典までに完成の予定。

2) **鉄と鋼記念特集号「鉄鋼技術の進歩」** 最近10年間に進歩発達したわが国鉄鋼技術の推移を特集し、特に進歩発達著しかった技術および製品について重点的にテーマをピックアップし、進歩発達した技術および製品が現段階にいたるまでの過程の解説、将来への展望を内容としており、鉄と鋼第51年第3号臨時増刊号として2月末日に刊行全会員に配布予定。

3) **鉄と鋼50周年記念号** 50周年を記念して行われる記念式典の様相、特別講演会の内容を盛り、合わせて第50回通常総会、表彰者講演の内容と第69回講演会の様相を鉄と鋼7月号に掲載すべく検討中であります。

4. 外人招待

50周年記念式典に海外15カ国より25名の招待を決定、招待状の発送をいたしました。出席者からは祝辞を戴く予定でありまた名誉会員に推挙すべく準備中であります。なお現在までに確定した出席者は下記の通りであります。

外国人招待者

Australia
Dr. R. C. Gifkins
President
Australian Institute of Metals

Belgium
Prof. Dr. Pierre Coheur
Prof. a l' Université de Liege
Administrateur-Gerant
C.N.R.M.
Mr. Pierre van der Rest
President
Comité de la Sidérurgie Belge
Groupement des Hauts-Fourneaux
(Dr. A. Decker)
(Chief Engineer, C.N.R.M.)

France
Mr. M. Allard
Director Général
IRSID
Prof., Dr. P. Lacombe
President
Société Française de Métallurgie
Mr. Henri Malcor
Président de la Compagnie
des Acieries de la Marine, de Firminy,
et de St-Etienne

Germany
Prof. Dr. Willy Oelsen
Direktor des Max-Planck Institut für
Eisenforschung
Prof. Dr. Hermann Schenck
Vorsitzender
Verein Deutscher Eisenhüttenleute

Great Britain
Sir Andrew McCance
Honorary President
Colvilles Ltd.

India

Dr. Bal Raj Nijhawan
 Director
 National Metallurgical Laboratory
 (Dr. A. B. Chatterjea)
 (Head, Low Shaft Furnace Plant of N.M.L.)

En Staalfabrieken N.V.
 Sweden

Mr. H. Abenius
 Chairman
 Jernkontoret

Italy

Prof. Dr. Antonio Scortecchi
 Direttore Institute Siderurgies Finsider
 Direttore Laboratorio Metallurgia
 Dell' Universita di Genova

U.S.A.

Prof. Dr. John Chipman
 Department of Metallurgy
 M.I.T.
 Dr. J. B. Austin
 Administrative Vice President
 Research and Technology
 United States Steel Corporation

Latin America

Dr. Carlos Prieto
 Presidente
 Instituto Latinoamericano del Fierro y el
 Acero

Dr. J. A. Fellows
 President
 A.S.M.

The Netherlands

Mr. Alexander Drijver
 Managing Director
 Koninklijke Nederlandsche Hoogovens

Mr. W. B. Stephenson
 President-Elect
 A.I.M.E.

50周年記念「鉄と鋼」特集号(臨時増刊)

「鉄鋼技術の進歩」刊行のお知らせ

本会では創立50周年記念事業の一環として、最近10年間に進歩発展したわが国鉄鋼技術の推移を特集し、「鉄鋼技術の進歩」と題し、「鉄と鋼」特集号として刊行することになりました。

本特集号は、最近10年間に於いて進歩発展の著しかった技術および製品について重点的にテーマを選び、進歩発展した技術および製品が理論的あるいは技術的(生産技術的)に現段階に至るまでの過程を解説、また将来への展望を内容とし、下記目次のごとく製鉄、製鋼、鋳物、加工、性質の5部門に分け、それぞれの専門家が執筆されたもので、わが国の鉄鋼技術の現状を理解するうえにまた実際作業面の上でも参考となる貴重な資料が多く含まれております。

本会会員に鉄と鋼第51年第3号臨時増刊号として全員に配付いたしますが、会員外の方でも購読を希望される方が多いかと存じますので、希望者には下記により申込みされるようご勧誘下さい。

記

1. 内 容

1. 製 鉄

- 1.1 製鉄理論と技術の展望
- 1.2 原料処理法
- 1.3 高炉用コークスの製造
- 1.4 高炉設備
- 1.5 高炉操業技術
- 1.6 電気製鉄法
- 1.7 特殊製鉄法
- 1.8 フェロアロイ製造技術

2. 製 鋼

- 2.1 製鋼理論と技術の展望
- 2.2 溶銑予備処理法
- 2.3 純酸素転炉法
- 2.4 真空冶金
- 2.5 連続鋳造法

3. 鋳 物

- 3.1 鋳物に関する理論と技術の展望
- 3.2 鋳鋼技術
- 3.3 鋳鉄溶解技術
- 3.4 強靱鋳鉄技術
- 3.5 造型法

3.6 遠心鋳造法

4. 加 工

- 4.1 加工理論と技術の展望
- 4.2 ストリップミル
- 4.3 線材圧延機
- 4.4 鋼管製造技術
- 4.5 熱間押出法
- 4.6 型打鍛造法
- 4.7 建材製造技術
- 4.8 クラスタミル
- 4.9 薄鋼板の性能
- 4.10 表面処理鋼板

5. 性 質

- 5.1 鉄鋼材料に関する理論と技術の展望
- 5.2 材 料
 - 5.2.1 高張力鋼
 - 5.2.2 耐熱鋼およびステンレス鋼
 - 5.2.3 原子炉用鋼
 - 5.2.4 電磁材料
 - 5.2.5 快削鋼
 - 5.2.6 構造用鋼

5.2.7 工具材料

5.2.8 バネ鋼

5.2.9 軸受鋼

5.2.10 粉末冶金

5.3 処理法および測定法

5.3.1 加工熱処理技術

5.3.2 試験検査法

2. 発 行 昭和40年2月末日

の予定

3. 頒 価 750円 送料 60円

4. 申 込 方 法 「鉄鋼技術の進歩」
 および送付先を明記、代金
 送料同封のうえ現金書留に
 てお申込み下さい。

5. 申 込 先

東京都千代田区丸の内 1-1
 交通公社ビル
 日本鉄鋼協会

昭和40年春季大会見学班表

(昭和40年4月8日(木))

班	定員	見学先	見学時間	見学内容	所在地	集合場所 時 間	費用 (円)
1	50	* 日立製作所 日立工場 (水戸偕楽園周遊)	10:00 ~13:00	主として水車発電機製作	日立市助川町1,405	日立駅 海岸口前 9:50	500
2	50	東京電力(株) 千葉火力発電所 川崎製鉄(株) 千葉製鉄所	10:00 ~12:00 13:00 ~16:00	発電所全般 岸壁, 平炉, 高炉, 圧延	千葉市蘇我町2-1367 千葉市川崎町1	上野駅 公園口前 8:40	700
3	50	三菱金属鉱業(株) 中央研究所 日本車輛製造(株) 第二車輛事業部	10:00 ~12:00 13:00 ~15:00	選鉱, 製錬, 加工など研究 設備 鉄道用車輛製作工程	大宮市北袋町 1-297 川口市大字芝 2,780	上野駅 公園口前 8:30	800
4	50	* 志村化工(株)本社工場 東芝製鋼(株)本社工場	10:00 ~12:00 13:00 ~15:30	ニッケル製品全般, ニッケル電解設備 大型電気炉, 平炉	板橋区長後2-13 足立区新田3-23	上野駅 公園口前 9:00	700
5	50	八幡鋼管(株)東京工場 * 萱場工業(株)東京工場	10:00 ~12:00 13:30 ~15:30	継目無鋼管製造 工場設備 (除く航空機工場 総合実験室)	板橋区舟渡3-2848 港区芝浦1-1	上野駅 公園口前 9:00	700
6	50	* 日産自動車(株) 追浜工場 (鎌倉周遊)	10:00 12:00	ダットサン, セドリック 組立	横須賀市夏島町1	品川駅 海岸口 8:00	850
7	50	* いすゞ自動車(株) 川崎工場 * 東京製綱(株)川崎工場	10:00 ~12:00 13:00 ~15:00	トラック, バス組立 伸線焼入, 洗線, 鍍金, 製綱, 検査各工場	川崎市大師河原下殿町 5931 川崎市河原町1	品川駅 海岸口 8:30	700
8	50	* 日本光学(株) 大井製作所 * (株)荏原製作所 川崎工場	10:00 ~12:00 13:00 ~15:00	光学機械器具製造 ポンプ一般	品川区西大井 1-6 川崎市北加瀬50	品川駅 海岸口 9:30	700
9	50	* キヤノンカメラ(株) 玉川工場 八幡製鉄(株) 東京研究所	10:00 ~11:30 13:00 ~16:00	8ミリカメラ, 交換レンズ 研究設備一般	川崎市下野毛 770 川崎市井田1618	品川駅 海岸口 8:30	700
10	50	日本鋼管(株) 水江製鉄所 * 日本石油 中央技術研究所	10:00 ~12:00 13:00 ~15:00	高炉, 分塊, 熱延 研究設備全般	川崎市水江町5-1 川崎市大師河原夜光 8543	品川駅 海岸口 8:30	700
11	50	* 昭和電線電纜(株) 本社工場 * 芝浦共同工業(株) 鶴見工場	10:00 ~12:00 13:00 ~15:00	裸線工場, 動力ケーブル工 場, ビニール線工場 工場設備全般	川崎市東渡田3-1 横浜市鶴見区末広町 2-4	品川駅 海岸口 8:30	700
12	50	* 三菱化工機(株) 川崎製作所 * 日本原子力事業 NAIG総合研究所	10:00 ~12:00 13:00 ~16:00	化学機械製作所 アナグロ電子計算機, Co ⁶⁰ 照射装置, イオン加速装置	川崎市大川町2 川崎市末広町 250	品川駅 海岸口 8:30	700
13	50	富士製鉄(株)中央研究所	10:00 ~12:00	研究用主要設備, 実験工場	相模原市淵野辺	新宿駅 西口前 8:00	800
14	50	鉄道技術研究所 (武蔵野周遊)	10:00 ~12:00	列車自動運転, 通信関係設 備, 車輛関係設備	国分寺市平兵新田	新宿駅 西口前 8:30	750

- 注 1) *は同業者お断り。
 2) 全班工場内での写真撮影はお断り。
 3) 第1班上野から往復交通費は各自負担といたします。
 4) 上野発 7:20発 日立着 9:30 準急ときわ
 " 7:40発 " 9:46 急行陸中
 水戸発 15:38発 上野着 17:23 準急ときわ